

2016年12月22日
株式会社フィスコ (3807 JASDAQ)

フィスコ仮想通貨取引所が第三者割当増資による資金調達を決定 シリーズ A で最大 10 億円のファイナンスを計画

株式会社フィスコ(JASDAQ 上場、証券コード「3807」、本社:東京都港区、代表取締役社長:狩野仁志、以下、「フィスコ」)のグループ企業である株式会社フィスコ仮想通貨取引所(本社:大阪府岸和田市、代表取締役:越智 直樹、以下「フィスコ仮想通貨取引所」)は、本日開催の取締役会決議において、第三者割当増資による資金調達を決定しましたのでお知らせいたします。

今回のシリーズ A は今後 3 ヶ月間で最大 10 億円のファイナンスを予定しており、今回はシリーズ A の第一弾として、ファンドを引き受け先としたファイナンスとなります。第一弾のファイナンス規模は合計 3.6 億円であり、増資資金払い込み前の時価総額は 30 億円となります。シリーズ A においては国内、海外での業務提携なども視野に入れた資本提携も模索しており、フィスコ仮想通貨取引所は今回の資金調達によって資金面だけでなく、業務面での飛躍を目指します。

いま世界では第 4 次産業革命の時代を迎えつつあると言われていています。第 4 次産業革命では、車や家電などすべてのものがインターネットに接続(IoT)され、そのビッグデータの高度な解析が可能になります。人工知能(AI)やブロックチェーンの発展により、現在よりはるかに効率化・省力化された未来が予測され、それらが半ば自律的に現実社会を動かすことになるかとされています。

フィスコグループではフィスコの他、株式会社ネクスグループ(JASDAQ 上場、証券コード「6634」、以下「ネクスグループ」)、株式会社 SJI(JASDAQ 上場、証券コード「2315」、以下「SJI」)などのグループ企業を擁しています。そのグループ各社においてはフィスコが投資向け AI の開発を進めていることに加え、ネクスグループが IoT 技術を保持しています。また、SJI は AI 開発のシステム的なバックアップに加え、ブロックチェーンへの豊富な知見を有しています。

今回のシリーズ A の第一弾は、ネクスグループとの協業による法人向けサービスとしてのスマートコントラクト事業、フィスコや SJI との協業における AI および仮想通貨デリバティブトレーディングシステムの運用開始とその極めて高い利回りと同システムの今後の他社への展開などを評価いただき、順調なスタートを切ることができました。

第 4 次産業革命で必要不可欠な技術を備えたグループ企業のサポートの下、フィスコ仮想通貨取引所はビットコインを中心とした仮想通貨の情報、取引所、同システム、金融仲介機能を網羅し、またスマートコントラクトなど、仮想通貨とブロックチェーンによる一気通貫のサービス提供を可能とすることを戦略的な支柱としております。

今後のフィスコグループの仮想通貨とブロックチェーン戦略にご期待ください。

【株式会社フィスコの概要】

会社名： 株式会社フィスコ <http://www.fisco.co.jp/>
所在地： 東京都港区南青山五丁目 4 番 30 号
設立日： 1995 年 5 月 15 日
資本金： 1,235 百万円(2016 年 6 月 30 日現在)
代表者： 代表取締役社長 狩野 仁志
事業内容： 金融機関、投資家、上場企業を支援する各種情報サービスの提供

【株式会社フィスコ仮想通貨取引所】

会社名： 株式会社フィスコ仮想通貨取引所 <http://corp.fcce.jp/>
所在地： 大阪府岸和田市荒木町二丁目 18 番 15 号
設立日： 2016 年 4 月 12 日
資本金： 52 百万円(2016 年 8 月 29 日現在)
代表者： 代表取締役 越智 直樹
事業内容： 仮想通貨の取引所運営、仲介、ファイナンス、仮想通貨を利用した金融派生商品の開発・運用、仮想通貨の取引所運営に関するシステムの開発・販売およびコンサルティング、その他の仮想通貨の一般サービス

以上